



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社 キトー

上場取引所 東

コード番号 6409 URL <https://kito.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鬼頭 芳雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務管理本部長 (氏名) 遅澤 茂樹

TEL 03-5908-0161

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	35,580	△16.8	2,976	△24.6	2,880	△17.3	1,314	△38.3
2020年3月期第3四半期	42,753	△2.3	3,947	△15.9	3,482	△16.2	2,131	△32.8

(注)包括利益 2021年3月期第3四半期 1,380百万円 (△12.7%) 2020年3月期第3四半期 1,581百万円 (△50.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	64.10	64.05
2020年3月期第3四半期	104.24	103.97

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	63,350	28,383	43.3
2020年3月期	62,804	27,927	42.8

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 27,410百万円 2020年3月期 26,902百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2021年3月期	—	12.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△14.9	4,100	△25.1	4,000	△19.9	1,800	△43.8	87.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	27,048,200 株	2020年3月期	27,048,200 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	6,528,427 株	2020年3月期	6,576,603 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	20,505,562 株	2020年3月期3Q	20,450,054 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大が継続し、各国で移動制限等の対策がとられるなど、経済活動への影響は未曾有なものとなり、さらに再拡大の影響が懸念されます。このような環境のもと、当社グループは、サプライチェーンの維持・確保に注力し、安定的な生産活動を継続しております。従業員の安全・健康を最優先し、リモート環境での業務を推進した結果、業務の見直しと効率化が図られました。加えて、全社的な支出の抑制により利益確保に努めました。

当第3四半期連結累計期間においては、各地域とも第2四半期以降、新型コロナウイルス感染症の影響から回復の兆しを見せるも、期の終盤において再拡大の様相を呈し、景気の不透明感が強まっております。このような環境下において、コスト管理の徹底を図り、売上高は35,580百万円（前年同期比16.8%減）、営業利益は2,976百万円（前年同期比24.6%減）、経常利益は2,880百万円（前年同期比17.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,314百万円（前年同期比38.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。当社グループは、当社及び連結子会社の所在地別セグメント区分で事業活動を展開しております。

セグメントの名称	売上高(前年同期比)	営業損益(前年同期比)
日本	15,199百万円 (25.1%減)	3,138百万円 (26.7%減)
米州	16,763百万円 (19.5%減)	655百万円 (44.6%減)
中国	5,282百万円 (9.9%減)	842百万円 (3.6%増)
アジア	1,665百万円 (25.3%減)	47百万円 (28.0%減)
欧州	2,907百万円 (12.6%増)	△152百万円 (前年同期は157百万円の営業損失)
その他	1,107百万円 (3.1%減)	△25百万円 (前年同期は15百万円の営業損失)

## (日本)

国内市場においては、第2四半期以降は回復傾向が見られましたが、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響により、当第3四半期末にかけて、顧客側都合による工期の遅延や納期延長などが散見されました。輸出については海外市場の需要減少を受け、子会社向けの出荷が減少したことから、売上高は15,199百万円（前年同期比25.1%減）、営業利益は3,138百万円（前年同期比26.7%減）となりました。

## (米州)

米国においては、第2四半期以降、地域や産業によっては、ゆるやかな回復傾向が見られた一方で、大統領選挙結果の見極め、新政権の施策への期待感などにより、事業活動や設備投資の先送りが見られました。結果、売上高は16,763百万円（前年同期比19.5%減）、営業利益は655百万円（前年同期比44.6%減）となりました。

## (中国)

中国は、足元ではコロナ禍の影響をいち早く脱し、業績は急速に回復いたしました。売上高は5,282百万円（前年同期比9.9%減）、営業利益は842百万円（前年同期比3.6%増）となりました。なお、同セグメントは12月決算のため、当第3四半期累計期間は1～9月の結果となっております。

(アジア)

欧米市場に比べてコロナ禍の影響は軽微であったものの、東南アジア地域の自動車関連産業などの設備投資が低迷した結果、売上高は1,665百万円(前年同期比25.3%減)、営業利益は47百万円(前年同期比28.0%減)となりました。

(欧州)

欧州各地においてロックダウンが再開されるなど、経済活動は停滞しました。このような環境下において、潜在需要を開拓すべく地道な営業活動を推進いたしました。なお、当セグメントにおいて前連結会計年度末にクレーン関連製品を製造するフィンランドの子会社を連結しております。その結果、売上高は2,907百万円(前年同期比12.6%増)となりました。利益面では152百万円の営業損失(前年同期は157百万円の営業損失)となりました。

(その他)

当セグメントは現在、豪州のみで構成されておりますが、経済活動の早期回復により、売上高は1,107百万円(前年同期比3.1%減)、営業損失は25百万円(前年同期は15百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は63,350百万円と前連結会計年度末に対し546百万円増加いたしました。これは、現金及び預金の増加3,385百万円、受取手形及び売掛金の減少1,836百万円等によるものです。

負債合計は34,967百万円と前連結会計年度末に対し89百万円増加いたしました。これは、短期借入金の増加5,261百万円、長期借入金の減少2,258百万円、未払費用の減少1,432百万円等によるものです。

純資産合計は28,383百万円と前連結会計年度末に対し456百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加576百万円、退職給付に係る調整累計額の増加408百万円、為替換算調整勘定の減少400百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年10月16日に公表いたしました業績予想を変更しております。生産性の向上、業務効率化推進、支出管理の強化により、利益確保が図られる見通しであることから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を、それぞれ上方修正いたします。詳細は2021年2月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,468	12,853
受取手形及び売掛金	11,088	9,251
商品及び製品	13,601	13,528
仕掛品	1,193	1,941
原材料及び貯蔵品	3,302	3,331
その他	1,465	1,479
貸倒引当金	△73	△52
流動資産合計	40,046	42,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,461	4,545
機械装置及び運搬具(純額)	4,246	3,789
その他(純額)	4,044	3,797
有形固定資産合計	12,752	12,132
無形固定資産		
のれん	1,316	1,037
その他	4,003	3,668
無形固定資産合計	5,319	4,706
投資その他の資産		
投資有価証券	2,000	1,981
繰延税金資産	1,803	1,333
その他	881	862
投資その他の資産合計	4,686	4,176
固定資産合計	22,757	21,015
資産合計	62,804	63,350

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,668	4,683
短期借入金	3,252	8,513
1年内返済予定の長期借入金	4,271	4,111
未払費用	3,349	1,917
未払法人税等	377	173
賞与引当金	769	583
その他の引当金	480	655
その他	2,093	2,177
流動負債合計	20,263	22,816
固定負債		
長期借入金	10,808	8,550
退職給付に係る負債	2,336	2,269
その他	1,469	1,331
固定負債合計	14,613	12,151
負債合計	34,877	34,967
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,976	3,976
資本剰余金	5,234	5,103
利益剰余金	24,086	24,662
自己株式	△5,678	△5,633
株主資本合計	27,618	28,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	△91	△82
為替換算調整勘定	△64	△464
退職給付に係る調整累計額	△559	△151
その他の包括利益累計額合計	△716	△698
新株予約権	66	62
非支配株主持分	958	910
純資産合計	27,927	28,383
負債純資産合計	62,804	63,350

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	42,753	35,580
売上原価	26,672	22,431
売上総利益	16,080	13,148
販売費及び一般管理費	12,133	10,172
営業利益	3,947	2,976
営業外収益		
受取利息	30	28
助成金収入	12	149
作業くず売却益	26	21
その他	71	146
営業外収益合計	140	346
営業外費用		
支払利息	257	180
持分法による投資損失	97	69
為替差損	123	93
その他	126	98
営業外費用合計	605	442
経常利益	3,482	2,880
特別利益		
固定資産売却益	7	3
特別利益合計	7	3
特別損失		
固定資産売却損	1	1
固定資産除却損	51	26
事業構造改善引当金繰入額	—	117
退職給付制度終了損	—	305
特別損失合計	52	451
税金等調整前四半期純利益	3,436	2,432
法人税等	1,226	1,036
四半期純利益	2,209	1,395
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	81
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,131	1,314



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,209	1,395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
繰延ヘッジ損益	△62	9
為替換算調整勘定	△572	△440
退職給付に係る調整額	14	408
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	7
その他の包括利益合計	△628	△14
四半期包括利益	1,581	1,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,534	1,331
非支配株主に係る四半期包括利益	46	49

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	11,096	20,765	5,338	2,229	2,181	1,142	42,753	—	42,753
セグメント間の 内部売上高又は振替高	9,209	55	524	—	401	—	10,190	△10,190	—
計	20,305	20,821	5,862	2,229	2,582	1,142	52,943	△10,190	42,753
セグメント利益 又は損失(△)	4,281	1,183	813	66	△157	△15	6,171	△2,224	3,947

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,224百万円には、セグメント間取引消去△337百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,886百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	8,844	16,727	4,912	1,665	2,322	1,107	35,580	—	35,580
セグメント間の 内部売上高又は振替高	6,355	36	369	—	585	—	7,346	△7,346	—
計	15,199	16,763	5,282	1,665	2,907	1,107	42,926	△7,346	35,580
セグメント利益 又は損失(△)	3,138	655	842	47	△152	△25	4,506	△1,530	2,976

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,530百万円には、セグメント間取引消去31百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,561百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。